

令和3年 4月 6日

(宛先) 湖西市議会議員

湖西市議会議員

氏名 馬場 衛



政務活動費収支報告書

湖西市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、令和2年度政務活動費について次のとおり報告します。

1 収入 政務活動費 120,000円

2 支出 (単位:円)

項目	支出額	主たる支出の内容
調査研究費		
広報・広聴費		
要請・陳情活動費		
研修費	24,690円	JIAM全国市町村国際文化研究所での研修会参加負担金
資料作成費		
資料購入費	62,660円	日本教育新聞、日経グローバル、しんぶん赤旗 購読料
合計	87,350円	

3 残額 32,650円



支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 馬 場

衛



会計年度	令和2年度	支出番号	1		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		5,580 円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和2年 4月28日	資料購入費	赤旗浜松出張 所	5,580円	「しんぶん赤旗」日曜版 (2020年4月～9月分) を購入したもの
				円	円
				円	円 円
				円	
				円	
支出目的	「しんぶん赤旗」日曜版を購入し、共産党の考えていること、活動の方向などを自分なりに分析、理解することで、議会活動の参考とするために購入した。				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領收証

馬場 簿

様

No.

1

金額

¥ 5580 -

但し 2020年4月～2020年9月
(L.C. 本人赤額) 日増版 既読科 上記正に領収いたしました
2020年 4月 28日

内訳
現金
小切手
手形
消費税額(%)



赤旗浜松出張所

〒433-8122 浜松市中区土島2丁目13-17

TEL (053) 474-2141



支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 馬 場

衛



会計年度	令和2年度		支出番号	2	
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額			18,500 円		
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和2年 5月15日	資料購入費	(株)日経BP マーケティング	18,500円	日経グローバルを5名で 共同購入
				円	円
				円	円
				円	
				円	
支 出 目 的	(株)日経BPマーケティング発行の「日経グローバル」を共同購入した。				
備 考	政治・経済について、議員間で共有し議会活動の参考とするため「日経グローバル」を5名で共同購入したもの。				






※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

令和2年度 日経グローバル共同購入者一覧

株式会社 日経BPマーケティング発行「日経グローバル」を下記の議員で共同購入し、費用は各議員が均等に負担します。

令和2年 5月 16日

	議員名	押印	金額	備考
1	馬場 衛		18,500 円	
2	竹内 祐子		18,500 円	
3	吉田 建二		18,500 円	
4	高柳 達弥		18,736 円	領収書等 原本保管
5	三上 元		18,500 円	

1人あたりの金額：(年間購読料 92,400 円 + 振込手数料 336 円) ÷ 5人

= 18,500 円 × 4人

+ 18,736 円 × 1人 (代表取扱者、端数処理)

請 求 書

F-500-00656-00354

請求コード

滋西市役所 議会事務局 様

2020年 5月 1日

下記の通りご請求申し上げます。

¥ 92,400 -

〒1
東京都
株室区日暮田
TEL. 03-5666-1150
株室区日暮田 P マーケティング
-3-12
FAX. (03) 5666-1150

項番	商 品 名	規 格	件 数	金 額	備 考
1	日経グローバル	1年(24冊)	1	92,400	
合 計					1 92,400

お振込みは、下記のいずれかの口座へお願いいたします。

Ⓧ 郵便局 口座番号: []

Ⓧ 口座名義: []

振替払込請求書兼受領証

[]

株式会社日暮田Pマーケティング

〒 1 9 2 4 0 0
株 室 区 日 暮 田 3 番 1 2 号

〒 5 0 0 0 0 0
株 室 区 日 暮 田 3 番 1 2 号

請求コード []

(指定振込先)

336

C2-05-15

新万郵便局

(23051)
〒9416009

この受領証は大切に、保管してください。

上記金額はすべて消費税込みです。

BL 2020-06-0002

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 馬 場

衛



会計年度	令和2年度		支出番号	3	
項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額			33,000 円		
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
	令和2年 5月15日	資料購入費	日本教育新聞社	33,000円	(株)日本教育新聞社発行の教育新聞12ヶ月分(2020年4月~2021年3月)を購入した。
				円	
				円	
				円	
支出目的	(株)日本教育新聞社の発行の教育新聞を購入、購読することで、教育・学校の諸問題、子供の育成について広く情報を収集し、湖西市の教育についての参考とし議会活動に生かすために定期購入した。				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。
 ※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

請 求 書

2020年 5月 8日

馬場 衛 様

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
 下記の通りご請求申し上げます。
 ※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役社長 林 幹 長

東京都港区白 0
 電話 03 () 08

《お支払い先》

- ・ 振替払込
- ・ 銀行振込

・ 口座名義

合計請求額	33,000 円	読者コード	[REDACTED]	請求書番号	0004321324
(内税) 【お問い合わせ】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。					
	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				円	
今回入金額				円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	12ヶ月分	33,000 円	2020/04-2021/03
合計請求額	日本教育新聞	1部	12ヶ月分	33,000 円	2020/04-2021/03

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

振替専用加入者行 この受領証は、大切に保管してください。	日本教育新聞社		銀行		CVS 収納用収入印紙貼付欄 (お客様控え)
	金額 振込元	金額 振込先	金額 振込先	金額 振込先	
ご依頼人 馬場 衛	金額 振込元		金額 振込先		(お客様控え)
料 金 附 考	金額 振込元		金額 振込先		

(ゆうちょ銀行)

20.5.15

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 馬 場

衛



会計年度	令和2年度	支出番号	4		
項目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 資料購入費		
合計支出金額		24,690円			
枝番	支出年月日	支出内容	支出先	金額	内 訳
1	令和2年 7月14日	参加負担金	JIAM 全国市町 村国際文化研 究所	8,340円	●参加費負担金 7,900円 ●振込手数料 440円
2	令和2年 7月17日	セミナー参 加費交通費	J R 東海	16,350円	●旅費内訳との差額 (730円) 復路は新幹線自由席を利用
		その他 ()		円	
支出目的	「Society5.0時代への対応～スマートシティの実現に向けて」研修参加負担金				
備考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

旅費内訳書

出張先： 全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）

出張日： 令和2年7月20日～22日

出張者： 馬場 衛

区分		行程（路線名・駅名等）		キロ数	金額	備考	
鉄道賃	JR線	普通	新居町 ◯ 唐崎	254.7	4,510		
			唐崎 ◯ 新居町	254.7	4,510		
		新幹線 特急等	豊橋 ◯ 京都	220.0	3,930	指定席(通常期)	
			京都 ◯ 豊橋	220.0	4,130	指定席(繁忙期)	
	線	普通					
	小計					17,080	
	代						
代							
小計					17,080 円		
日当							
宿泊料		2	泊 7,900	円	7,900	指定宿泊 (朝・夕食あり)	
合計					24,980 円		
行程略図							
7月20日 新居町 ◯ 東海道本線 豊橋 ◯ 東海道新幹線 京都 ◯ 湖西線 唐崎 <セミナー参加> 全国市町村国際文化研修所 (泊)		7月21日 <セミナー参加> 全国市町村国際文化研修所 (泊)		7月22日 <セミナー参加> 全国市町村国際文化研修所 唐崎 ◯ 湖西線 京都 ◯ 東海道新幹線 豊橋 ◯ 東海道本線 新居町			

キャッシュサービスご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます



浜松いわた信用金庫

お取引日 02-07-14		取引金額(元) 内訳 取扱金額	
お取引内容 振込			
お取引内容	振込		
手数料	¥440	手取	¥0
時間	09:02	お支払	¥660*

印紙税申告納
付につき浜松西
税務署承認済

写

キャッシュサービスご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます



浜松いわた信用金庫

お取引日 02-07-14		取引金額(元) 内訳 取扱金額	
お取引内容 振込			
お取引内容	振込		
手数料	¥440	手取	¥0
時間	09:02	お支払	¥660*

印紙税申告納
付につき浜松西
税務署承認済

駅名 1310 領収書番号 29102
窓口番号
領 収 書

馬場衛 様

金額 ￥16,350円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額唯かに領収致しました

2020年7月17日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



駅名 1310 領収書番号 29102
窓口番号
領 収 書

馬場衛 様

金額 ￥16,350円
「消費税等込み」

但し、乗車券類として

上記金額唯かに領収致しました

2020年7月17日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

鷺津駅

現金出納社員



供 覧	議長	副議長	局長	次長	係長	係
	●	●	●	●	●	● ●

様式第9号 (第7条関係)

令和 2年 8月 6日

湖西市議会議員

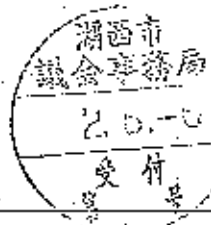
氏名 馬場 衛 ●

政務活動報告書

下記のとおり政務活動を行ったので報告します。

記

項 目 (□にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 資料購入費
期 間	令和 2年 7月 20日 (月) ~ 7月 22日 (水)		
場 所	滋賀県 JIAM 全国市町村国際文化研究所		
内 容	令和2年 Society5.0時代への対応 ～スマートシティの実現に向けて～の研修受講		
目 的 (市政との関連性)	湖西市の取り組むスマートシティの実現に向けて、先進地の取り組み事例等を研究し、市の総合計画策定に合わせ、担当部局との協議の場に活かしたい。		
成 果	令和2年 Society5.0時代への対応～スマートシティの実現に向けての研修会に参加し、6名の講師から、「Society5.0時代」＝ 実現するための自治体への転換、RPAを活用した業務改善、AIを活用した防災の取り組みの講義、参加者が地域のビジョンや課題を持ち寄りした意見交換、Maas 事業豊田市、スマートシティ会津若松の事例紹介など多岐にわたり学習することができた。参加者の多くが、自治体関係者で若い職員が目立つ。湖西市の取り組むスマートシティ構想実現のためにも、若手職員の研修参加の必要性を感じる。市の総合計画策定に合わせ、担当部局との意見交換、協議に参考となる研修会であった。		



詳細報告

7月20日(月) 講義・事例紹介・意見交換

●「Society 5.0の地方」を実現するスマート自治体派の転換と題し

講師 HIRO 研究所 代表 廣川 聡美 氏

1. ICT (情報通信技術) の動向

AI 人口知能→人工的な方法による、学習、推論、判断等の知的な機能の実現および活用に関する技術=データを自動的に分析、活用する技術。

2. Society 5.0

データの活用。

3. 自治体戦略 2040 構想

人口減少下において、満足度の高い人生と、人間を尊重する社会を構築するために、自治体がとるべき戦略(方向性)を示したもの。

4. スマートシティとスマート自治体

求められる背景 2050→世界人口の70%が都市に集中、交通渋滞、生活環境の悪化等課題が発生、都市、社会の最適化を図らなければならない。IoTを活用して、需要と供給の必要量を測定し、地域社会全体で最適な資源配分ができるよう調整することが必要。

5. スマート自治体への転換

人口減少が進んでも、行政サービスを維持し、住民福祉の水準を維持。職員を事務作業から解放し、行政職員でなければできない業務にシフト。

ベテラン職員の知恵や経験をAI等に蓄積、代替えさせる。

6. スマート自治体構築のロードマップ

7. 自治体担当者の役割

ICTの利活用動向に関心を持ち、情報を共有する。

改革に関する基本的認識を全庁で共有する。

設計図を(基本方針・計画)を描く。

業務プロセス改革の手順。

担当者の心得。

以上が講義の主な内容、スマート自治体への転換の必要性を理解することができた。

●事例紹介

スマート自治体

1. 熊本県宇城市

企画部 部次長 天川 竜治 氏

RPA を活用した業務改革 現状と課題、失敗例を含めた事例報告

2. 鳥取県米子市

総合政策部 情報政策課 課長 堀口 修治 氏

スマートシティの実現に向けて～

スマート窓口の取り組みについて事例報告

●意見交換

参加者29名をA班からG班の7班に分かれての意見交換会を実施
(E班に参加)

10年前から生活はどう変わった？

人口減少、スマホの普及、キャッシュレスなど

今日の講義を振り返って

RPAの失敗例は参考になった、業務の見直し、やりたい部署から取り組んでみるなど。

7月21日(火) 講義

●スマートシティの実現に向けて

内閣官房情報通信技術 (IT) 総合戦略室

政府CIO 上席補佐官 平本 健二 氏

社会の変化が加速度をもっている

社会インフラの変化・日本のビジョンのSociety5.0とは

Society5.0のショウケースであるスマートシティなど

●事例から学ぶスマートシティ

アクセンチュア・イノベーションセンター福島

センター長 中村 彰二朗 氏

震災復興・地方創生・低生産性・ポストコロナについて講義

●事例紹介

1. AIを活用した防災の取り組み

AI 防災協議会 事務局長 LINE 株式会社

公共政策室 室長 福島 直央 氏

LINE と防災・課題意識（情報空白への対応）

LINE×AI による防災の支援（避難しない人への支援）

2. LINE を活用した災害情報共有

神戸市危機管理室

総務担当課長 末若 雅之 氏

阪神・淡路大震災で浮き彫りになったこと、災害時の情報：発信について（5のツール）を示す

SNS を活用した災害時情報収集、市民参加型実証訓練の実施と効果を説明。

3. MaaS

MONET Technologies (株) 事業推進部 東日本地域事業推進課

課長兼担当部長 小澤 拓郎 氏

愛知県豊田市企画政策部未来都市推進課 担当長 堂山 誠也 氏

コーディネーター 中村 彰二朗 氏

スマートシティを目指す豊田市の取り組みについて、

次世代モビリティを活用した街づくりを紹介

SDGS 未来都市を選定

コンセプト「みんながつながる ミライにつながるスマートシティ」

SDGS の理念に沿った総合的取り組み（経済・社会・環境）の視点で、多様な主体の「自立」と「つながり」をもって取り組みを加速し、スマートシティを実現した。

超小型モビリティシェアリングシステム

パーソナルモビリティ（歩行領域EV）

自動運転の実証

等を解説

7月22日（水）事例紹介とまとめ

● 「スマートシティ会津若松」の取り組みとビジョン

福島県会津若松市企画政策部

副部長（スマートシティ推進担当） 鶴川 大 氏

アクセント・イノベーションセンター福島

センター長 中村 彰二朗 氏

スマートシティ会津若松の目指すもの

健康や福祉、教育、防災、エネルギー、交通、環境などあらゆる分野で情報通信技術（ICT）や環境技術を活用した取り組みを推進するとし

- ・産業振興を含めた「地域活力の向上」を図る
- ・「安心して快適に生活できるまちづくり」を進める
- ・「まちの見える化」を図る

を目的に、スマートシティ・地方創生を進める上での産官学の連携を強化

- ・各団体が持つ専門的・先進的な見地から、事業提案を受けられる仕組みを構築
- ・事業実施にあたっては、市からの直接発注のほか、市が参画する外部団体で、事業内容を精査し実施するスキームも有する。

会津若松市まち・ひと・しごと創生包括協議会

(2020年7月 市や会津大学、企業など含め49団体)

スマートシティ 地方創生を実現する8策

1. データはそもそも市民個人のものであれことを前提とすること。
2. オプトインを徹底すること（データ利用において）。
3. サービスごとに、三方良しルールでデザインすること。
4. 新たな公共ガバナンス体制を構築すること。
5. 行政単位でなく生活圏でデザインする
6. APIによる地域間連携を実現すること。
7. 都市OSによる標準化を遵守する。
8. アーキテクトを分散配置（人材育成）

の内閣府事業を紹介。

スマートシティは、行政だけではできない、各セクションからメンバーを集めて（選定も必要）、立ち上げは市長から市の有力者（信頼性）リーダーとなる人、ビジョンを共有できない企業は入れないこと。

産・官・学の連携の必要性を強調し今研修会を終えた。

感想 今回建設環境委員会として、委員5名で Society5.0時代への対応～スマートシティの実現に向けて～ 全国市町村国際文化研究所で開催の研修会に参加。

湖西市が取り組む「湖西市スマートシティ構想」に向けて当委員会として、絶好の機会と捉え、2泊3日の研修に参加。参加者29名（議員7名）各地域から若手自治体職員が多く参加。RPA・AI・ICT・SNS・LINE・Maasなどの引用についていけない場面あり、湖西市も若手職員の積極的な研修参加を望む。



別添 2泊3日の日程表を添付しました。

※ 報告詳細の欄が足りない場合は、別紙を用いること。

※ 政務活動を行ったことが分かる資料等（視察、研修会、報告会、会議等）を添付すること。

Society5.0時代への対応～スマートシティの実現に向けて～

(敬称略)

※都合により、ちらしに掲載している時間割から一部変更しております。

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00-)
7/20	月	11:00-12:00 受付 11:30- 懇食 12:30- 開講 座談オリエンテーション 入森オリエンテーション	【講義】 (10:45-11:45) 堺から学ぶ スマートシティ アクセンチュア・イノベ ションセンター福島 センター長 中村 彰二朗	【講義】 「Society 5.0時代の地方」 を実現するスマート自治体 への転換 HIRO研究所 代表 廣川 聡亮	【事例紹介①】 スマート自治体 熊本県宇城市企業部※1 鳥取県米子市総合政策部 情報政策課※2 コーディネーター: HIRO 研究所 代表 廣川 聡亮	【意見交換】 地域のビジョンや課題を 持ち寄り意見交換	
7/21	火	【講義】 (9:00-10:30) スマートシティの発展に向けて 内閣府情報通信技術 (IT)総合政策室 政府CIO上席補佐官 平本 健二	【講義】 (10:45-11:45) 堺から学ぶ スマートシティ アクセンチュア・イノベ ションセンター福島 センター長 中村 彰二朗	【事例紹介②】 (13:10-14:55) AIを活用した防災の取組 AI防災協議会※3 神戸市危機管理室※4 コーディネーター:アクセンチュア センター長 中村 彰二朗	【事例紹介③】 (15:15-17:00) MeaS MONET Technologies (株)※5 愛知県豊田市未来都市推進課※6	【JAMホール、筑智堂】	
7/22	水	【事例紹介④】 (8:25-11:10) 「スマートシティ会津若松」の 取組とビジョン 福島県会津若松市企画政策部※7 アクセンチュア・イノベーションセンター福島 センター長 中村 彰二朗	まとめ (11:25-12:00) ※8	12:00-12:30 ふりかえり、研修アンケート記入、閉講 ※受講証明書の再発行はできませんので紛失されないようご注意ください。	【JAMホール】		

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

- ※1 熊本県宇城市企画部 部長 天川 竜治
- ※2 鳥取県米子市総合政策部情報政策課 課長 細口 修治
- ※3 AI防災協議会 事務局長 LITE株式会社公共政策室 室長 福島 直央
- ※4 神戸市危機管理室 総務担当課長 末吉 雅之
- ※5 MONET Technologies株式会社 事業推進部 東日本地域事業推進課 課長 兼 担当部長 小澤 拓郎
- ※6 愛知県豊田市企画政策部未来都市推進課 担当 堂山 誠也
- ※7 福島県会津若松市企画政策部 副部長 (スマートシティ推進担当) 廣川 大
- ※8 アクセンチュア・イノベーションセンター福島 センター長 中村 彰二朗

(令和元年7月20日現在)

名札の色：緑色、研修担当

支 出 伝 票

湖西市議会議員

氏名 馬 場

衛



会計年度	令和2年度		支出番号	5	
項 目 (口にレ点)	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費		<input type="checkbox"/> 広報・広聴費 <input type="checkbox"/> 資料作成費		<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費
合計支出金額			5,580 円		
枝番	支出年月日	支出内容	支 出 先	金 額	内 訳
	令和2年 10月21日	資料購入費	赤旗浜松出張 所	5,580円	「しんぶん赤旗」日曜版 (2020年10月～2021年 3月分)を購入したもの
				円	円
				円	円 円
				円	
				円	
支 出 目 的	「しんぶん赤旗」日曜版を購入し、共産党の考えていること、活動の方向などを自分なりに分析、理解することで、議会活動の参考とするために購入した。				
備 考					

※ 領収書は別紙に添付。 ※ 内訳欄に記載できない内容は、備考欄へ記入。

※ 消耗品費や図書費の支出など、政務活動報告書を添付しない支出の場合、支出目的欄に市政との関連性を記入。

領 収 証 馬 場 衛 様 No. 19

金額

7 5 5 8 0

但し 赤旗浜松出版版税料 2010年7月～2011年3月

令和2年10月21日 上記正に領収いたしました

内 訳

現金

手形

現金

消費税(9%)



記入印紙

赤旗浜松出張所

〒433-8122 浜松市中区上島2丁目13-17

TEL (053) 474-2141